

各プロジェクト校の取組

大竹市立玖波小学校 共に生きる 「わかった」「できた」と実感し、学びに向かう児童の育成

めざす子供の姿

わかった!できた!もっと伝えたい!もっと学びたい!
自分で計画を立てた!自分で決めた!自分でできた!

協働的な学び「みんながいるからできた」 一人一人の学びを集団で共有し、深化させる新たな問いを創造する

特別支援教育の視点を生かして
個別最適な学び「ここまでできた・自分でできた」

意欲アップ

学習の流れを示す
見通しをもって自分で進める

通信発行・掲示板

取組の共有化

教育支援計画・指導計画の見直し

全員で研修

縦・横のつながり

ケース会議の実施

今、一番困っていることは?

みんなでここに
取り組もう!

課題・取組の
焦点化

学習の場

学習方法

学習の量

自己選択 と 自己決定

友達に教えて
もらうコースで

どのヒントカードに
しようかな

いくつ
考えようかな

ここでやろう!

模型で
考えよう

タブレットで
考えよう

何問チャレンジ
しようかな

学習の流れを示す
見通しをもって自分で進める

算数の学習計画表	目標	内容	進捗
1. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
2. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
3. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
4. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
5. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
6. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
7. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
8. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		
9. 問題文を読み取る。	問題文を読み取る。		

時間配分
を示して

今、ここだよ!

児童が自分たちで
学習を進めている間に
先生は個別の支援へ

サポート児童の困難さの把握

困難さの背景の分析

手立ての検討・実施

手立ての評価

児童の実態把握

支援シートの活用

複数で協議

個別の支援

個別の指導計画の活用

東広島市立川上小学校の取組

【学校教育目標】自ら学び 共に学び 心豊かでたくましい子

研究主題 主体的に学ぶ児童を育成する算数科の授業改善

特別支援教育の考え方を生かした授業

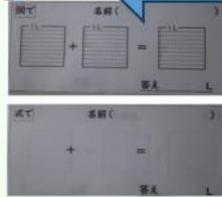
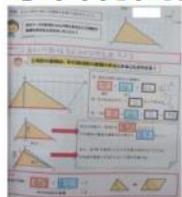
単元構想

自由進度学習の手法を取り入れた授業

選択肢と自己決定・自ら学ぶ場の設定

学習材開発

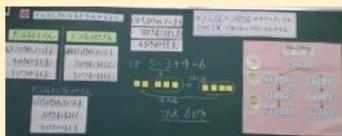
学習環境整備



ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業

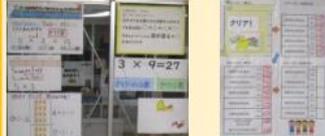
学びたくなる授業

焦点化



ねらいを絞った分かる授業

構築化



単元のストーリーを構築

視覚化



視覚的に分かりやすい教材

共有化



友達と関わりながら学びを深める

特別支援教育の視点

つまずきや強みを探る・環境を整える

個別の教育支援計画・指導計画に
基づいた**実態把握**

量の調整

書く量 取組量 情報量



構造化

場の構造化

時間の構造化



廿日市市立廿日市小学校の取組

研究主題

「主体的に学ぶ児童の育成 ～特別支援教育の考え方を生かした学びづくりを通して～」

次の取組を、児童の**アセスメント**に基づき、PBSの考え方のもと行うことで、すべての児童が、主体的に学び、学ぶ楽しさを感じられるような授業づくりをしました。

(1) 学習計画の提示をする。



市の様子と人々のくらしのうつりかわり
～学習計画表～

本人説明のよう
「特別支援学級に入学したから生活のうつりかわり」を聞いて、まとめる。

学習の目的
・「自分の学びたいこと」を、市の様子と人々のくらしを題材に選びます。
・自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。
・同じ学習の目的で、自分の学びたいことを選びます。 (ここがやってもいいです)
・自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。

学習の目的	学習の計画	学習の進捗	学習の評価
自分の学びたいことを選びます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。
自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。
自分の学びたいことを選びます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。	自分の学びたいことについて、自分の学習計画を立てます。

- ①単元の導入時に、学習計画を提示する。
- ②自由進度学習において、児童と学習の流れを共有するとともに、自分の学習計画を立てる時間を設定する。

(2) 自分に合った手立てや学習方法、学習形態、学習進度、学習場所について、**自己選択・自己決定させる場**を設ける。

- ①従来の授業スタイルにおいて、児童に学習方法や学習形態などを委ねる場面を増やす。
- ②「見通し→自己選択・自己決定→振り返り→改善」のサイクルを実施する。
- ③**教科・単元特有のつまずきの想定とそれに対する手立てを行う。**

(学習指導要領解説の具体化)

④本単元に想定されるつまずきとそれに対する支援
(1) 教科の本質(目標)に関わって

つまずき(困難さ)	具体的な支援(手立て)
学習の振り返りの場面において、学習内容の想起が難しい。(思・判・表)	・授業のはじめに、自身で本時のめあて(自分の願い「～したい」)を決める時間を設定し、授業の最後には、その視点で振り返られるようにする。 ・学習経過を自分で振り返ることができるように、「おもちゃ記録シート」に写真や動画で記録をするようにする。
体験を通して気付いたことを基に考え、おもちゃを作ることが難しい(思・判・表)	・多目的室に、作ったものを遊ぶコーナーを設定し、遊びながら自身で作ったおもちゃの工夫を確かめられるようにする。 ・考える項目(見付ける、比べる、たどる、試す、見直す、工夫する)を掲示し、自分の考えたことを言葉や写真、動画で表すことができるようにする。

(3) 学習の振り返りを充実させる。

- ①振り返りを通して、自己の学習状況や理解度を把握させ、次時の学習への課題意識をもたせたり、自由進度学習においては、自身の学習計画の見直しをさせたりする。
- ②児童に振り返りの視点を提示する。

自由進度学習 ふりかえり

名前: _____

自由進度学習の振り返りシート

めあて	振り返り
10/28 (日)	
10/29 (月)	
10/30 (火)	
10/31 (水)	
11/1 (木)	
11/2 (金)	
11/3 (土)	
11/7 (日)	

Assessment (実態把握) からの出発

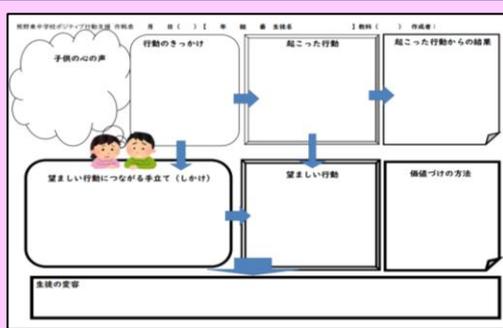
ポジティブ行動支援 (PBS)

「子供の望ましい行動を教える・促す・価値付けるといったポジティブな方法で増やそう」

A

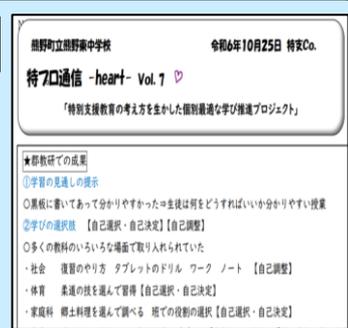
「ポジティブ行動支援作戦表」を活用した実態把握

- ・ 行動観察やチェックリスト等から情報を収集し、気になる生徒の実態を整理
参考：広島県教育委員会(平成30年4月)
「気になる生徒の支援につなげるチェックリスト」
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/272547.pdf>
- ・ 具体的な行動目標や手立てを検討



「特プロ通信」の発行

- ・ 特別支援教育コーディネーターが作成し、定期的に発行
- ・ 組織的な取組になるよう、取組の進捗状況や有効な手立て等を共有



P D C

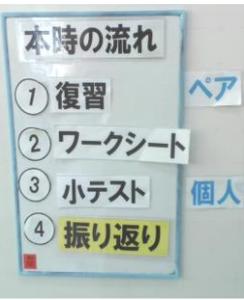
集団全体への支援(見通し)

個への支援

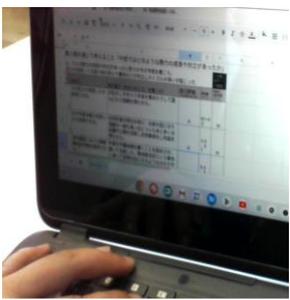
協働性を高める支援

東中支援の5つのポイント

①学習の見通しの提示



②めあて、まとめ+振り返り



③学びの選択肢(教材・教具)の提供



④生徒のICT活用



⑤4人班を活用した学び合う場の設定



A

「ポジティブ行動支援作戦表」を活用した見直し・改善

- ・ 学年団で各教科等の取組を共有
- ・ 改善策の検討



改善への意欲向上

取組を通して

生徒の変容
 ・ 効果検証の結果、「話し合って考えを深めたり広げたりしている」「見通しをもって粘り強く学習を進めている」について、肯定的な回答をする生徒が増加した。また、「学校へ行くのが楽しい」について、否定的な回答をする生徒が減少した。
 ・ 授業時間以外の場面においても、生徒自分から聞かないことを他の生徒に聞く様子が見られるようになった。学力が向上した生徒からは、「自分に合った課題を提供してもらうことで、やる気が出た。」といった感想があった。

教師の変容
 ・ 効果検証の結果、「一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供した。」「一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の指導の工夫を行った。」について、肯定的な回答をする教師が増加した。
 ・ 教師間で生徒の様子を共有し、どうしたら生徒にとってよりよい手立てになるか考える機会が増加した。「今までは「何で授業に参加しないのだろう」と生徒の様子に疑問をもつだけだったが、取組を通して、個への支援方法を考えるようになった。」といった感想があった。

尾道市立栗原中学校の取組

未来に向けてよりよい選択をする生徒の育成
 ~生徒全員が生き生きと取り組む「個別最適な学び」を通して~

学習環境の整備



【授業】さらにやってみようという意欲
 次はこうしたいという見通し
 【行事】やり終えた感動
 次また頑張りたいという意欲
 仲間意識

振り返り
 (認める)

【授業】多様な答えの把握
 自らの答えの修正 深化
 次の問題への挑戦
 【行事】改善方法の作成 → 取組

課題
 (問い)

- 自己選択
- 自己決定
- 表現 交流
- 学び合い
- 自己肯定感

【授業】「問い」試行錯誤がある問い
 選択する問い 深く考える問い
 多様な答えのある問い
 【行事】最善解を求めるような課題
 計画の立案 実施方法の決定

考える
 (思考1)

【授業】考えたことの表現 交流
 表現の選択 ICTの活用
 【行事】取組の実施 → 課題の把握

教え合い 協力
 (思考2)
 ※考えの修正

生徒が主体の学校行事



生徒理解の深化 ~教職員研修の実施~



生徒指導の実践上の視点を生かした授業づくり

実態把握

- ・「授業ログ」を活用し、個別の支援等が必要な生徒を観察

時間	日時			生徒の行動	生徒の気持ち
	教科	生徒	活動内容		
1					

- ・個別の指導計画の活用

見通し

- ・単元計画の配付や学習計画表の活用
- ・導入の工夫
 - ▷ めあてや学習活動の流れの明示
 - ▷ 評価規準の明確化

自己選択・調整

個に応じた指導

- ・教材・教具の工夫
 - ▷ ICTの活用
 - ▷ 習熟度に応じた課題の提供

協働的な学び

- ・話し合い活動の充実
 - ▷ 個人思考→集団思考→個人思考
 (他者の考え等を基に、自身の考えを深める)

取組を通しての変容

【生徒】「授業ログ」や効果検証の結果から、生徒自ら、自分に合った学習方法を選択し、意欲的に学習に臨む生徒が増えた。

【教師】生徒の学習面や行動面の困難さに対し、その要因に目を向けるようになった。

・生徒の“なぜ”を大切にしたい課題(問い)を設定し、生徒目線で授業を工夫するようになった。



三次市立和田小学校の取組

授業づくり(通常の学級~理科の実践~)

授業づくり(特別支援学級~生活単元学習の実践~)

【単元構成の工夫】

事象を比較したり、既習事項や生活経験と関係付けたりしながら、問題を設定し、解決を進める単元構成を行った。

【単元構成の工夫】

パン屋の見学を通して、家族に喜んでもらえるピザ屋さんにするために必要なことを考え、自分たちで単元計画を作り学習を進めた。

導入時に体験活動を取り入れ、気づきや疑問をもたせる。



写真やキーワードをもとに必要な活動を考え、単元のゴールに向けて取り組む。



事象を比較・関係付けながら集約する。



特別支援教育の視点を踏まえた児童理解

【アセスメント】

- ・センター的機能の活用
- ・ケース会議の実施
- ・支援システム「結-EN」の活用
- ・個の実態を共有する場の設定

様々な角度から児童実態を把握する



【評価・改善】

- ・授業研究における個の見取り
- ・授業研究における効果的な手立ての協議や共有

個への支援や授業づくりに生かす



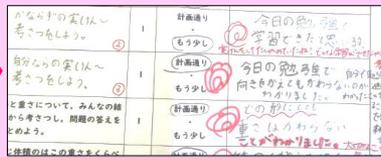
問題解決の過程に沿って、予想・実験・考察場面の学習プリントを作成する。



課題の設定⇒課題解決(実践・挑戦)⇒評価(指導者・自己・他者)を繰り返し行い、学びをつなげる。



学習計画を立て、学習を振り返ったり調整したりしながら学習を進める。



ICTを活用し、視点に沿って振り返りを行うことで、自己の変容に気付いたり、次の学習につなげたりする。

個への支援(通常の学級~生活科及び理科の実践~)

個への支援(特別支援学級~体育科の実践~)

【自己選択・自己決定できる学びの場】

主体的に活動したり理解を深めたりできるよう、学習コーナー、おたすけコーナー、チャレンジコーナー等の学びの場を設定した。

【自己選択・自己決定できる学びの場】

一人一人が自分の課題を決め自己決定して取り組めるよう、様々な活動の選択肢の場を設定した。

実験方法や進度を自己選択・自己決定して学習を進める。



既習事項や道具の使い方等を確認できる場をつくる。



安心して取り組める場、選択肢のある学びの場をつくる。



時間・活動の構造化を行い、学習に集中できるようにする。



物理的な構造化を行い、活動の場を分ける。



福山市立神辺小学校の取組

学校教育目標 「**自考自動**」～自ら考え自ら行動する～

学びの中に選択肢(オプション)を取り入れる!!

学びのユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業改善

- 原則1 取組.....なぜ学ぶのか
- 原則2 提示(理解)....何を学ぶのか
- 原則3 行動と表出....どのように学ぶのか

取組後の児童の様子
・児童と授業の目的を共有することで意欲的になった。
・児童が自ら考え、学び方を決めることで、それぞれのペースで学習に向かうようになった。

課題
課題に対して、児童一人一人が学ぶ方法を選択したり自覚したりしながら進めていくことが不十分だった。

学年・教科等	何ができるようになるか	取組...なぜ学ぶのか	提示(理解)...何を学ぶのか	行動と表出...どのように学ぶのか	単元を終えて																																																
第2学年 生活科 「つくるたのしさはっけん」 国語科 「紙コップ花火の作り方」	生活 第1学年の児童が楽しむことができる遊びを考え、おもちゃを工夫することができる。	目的の共有 「おもちゃランドへようこそ」 1年生とおもちゃで遊ぼう! 作る ①うごくおもちゃを作って、1年生に楽しくあそんでもらおう! 書く ②1年生が作れるよう、分かりやすいせつめい書を書きプレゼントしよう!	活動の場の提示 材料や活動で、教室が分かれる。 試したり、アドバイスしたりしてよりよいおもちゃを工夫して作る教室	場の選択 おもちゃを作ったり、説明書を書いたり、繰り返し試しながら活動できる。 今日、作り方の説明を書くよ! 1年生が喜んでくれるといいな! 段ボールを使っておもちゃを作っている様子 牛乳パックを使っておもちゃを作っている様子	第1学年の児童が楽しめるおもちゃになるよう、工夫することができた児童 89人中82人(92.1%) 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができた児童 89人中77人(86.5%)																																																
第5学年 体育科 「器械運動(跳び箱運動)」	伸膝台上前転かかえこみ跳びができる。	課題の選択 「跳び箱オリンピック」 自分で技を決めて披露しよう! ねらい ①苦手な技とべる技を取り、自分ができる技や場所を選んで運動する。 ②よりよくとぶためのコツを見つけ、技のレベルをあげようとしている。	チェックリストの提示 できたら回しよう! <input type="checkbox"/> 両手をマットに着ける。 <input type="checkbox"/> 頭の後をマットに着ける。 <input type="checkbox"/> 真っ直ぐ前転する。 <input type="checkbox"/> 両手をマットに着ける。 <input type="checkbox"/> こしを頭より高くする。 <input type="checkbox"/> 頭の後をマットに着ける。 <input type="checkbox"/> 真っ直ぐクルンと前転する。 <input type="checkbox"/> 両足をそろえて着地する。	内容の選択 自分の技能に合わせて、練習方法や場を選択し、挑戦できる。 ソフト跳び箱 ステージ 二段の跳び箱からチャレンジしよう! 高さの違う跳び箱	伸膝台上前転ができた児童 35人中31人(88.6%) かかえこみ跳びができた児童 35人中17人(48.6%)																																																
自閉症・情緒障害特別支援学級 算数科 「角柱と円柱」	角柱や円柱の ①性質を知る。 ②見取図をかく。 ③展開図をかく。	内容と興味の関連 「立体アイテムを作ろう」 角柱と円柱を一つ以上組み合わせ、自分の作りたい立体を作ろう! 	学習計画の提示 学習計画を共有し、児童が、自分の学習の進め方の計画を立てる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>3. 学習の流れ</th> <th>学習の場</th> <th>学習の場</th> <th>学習の場</th> <th>学習の場</th> <th>学習の場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>見取図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> <td>展開図をかく</td> </tr> </tbody> </table>	3. 学習の流れ	学習の場	学習の場	学習の場	学習の場	学習の場	1	見取図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	2	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	3	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	4	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	5	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	6	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	7	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	ペース/学び方の選択 自分の興味・関心や学習のペースによって、学習の課題を選択できる。 体験的に学習できるコーナーを設けることで、自分で課題を乗り越えることができる。	角柱や円柱の ①性質を知る できた児童 7人中7人(100%) ②見取図をかくことができた児童 7人中4人(57.1%) ③展開図をかくことができた児童 7人中7人(100%)
3. 学習の流れ	学習の場	学習の場	学習の場	学習の場	学習の場																																																
1	見取図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく																																																
2	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく																																																
3	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく																																																
4	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく																																																
5	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく																																																
6	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく																																																
7	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく	展開図をかく																																																